

## 武蔵野線などの輸送障害について

平成18年12月13日

11月27日(月)武蔵野線の新秋津駅構内における機関車故障、11月28日(火)東海道線の人身事故及び南武線の信号トラブルにより、12月1日(金)まで輸送障害が続き、旅客列車並びに貨物列車に多数の運休及び大幅な遅れが発生しました。

これらの輸送障害により、お客様並びに旅客会社に多大なご迷惑をおかけしました。

### 1. 輸送障害の概要

#### (1) 機関車故障

発生日時 11月27日(月) 19時18分頃

発生場所 武蔵野線 新秋津駅構内

#### 概況

電気機関車の発電機の保護装置(シャ断器)が破損したため、武蔵野線の新鶴見～西船橋間が停電となり運転中止になりました。復旧作業後、貨物列車を新秋津駅に28日(火)の0時57分に収容し、1時28分に運転再開しました。

#### (2) 鉄道人身障害事故

発生日時 11月28日(火) 4時00分頃

発生場所 東海道線 草薙～清水駅間

#### 概況

旅客列車と公衆が衝撃し、5時59分に運転再開しました。

#### (3) 信号トラブル

発生日時 11月28日(火) 21時35分頃

発生場所 南武線 尻手駅構内

#### 概況

信号トラブルが発生し、23時40分に復旧しました。

### 2. 列車影響

(1) コンテナ列車134本及び車扱列車13本が運休したほか、多数の列車に大幅な遅れが発生しました。

(2) 武蔵野線の車両故障により、旅客列車50本が運休、37本に最大で366分の遅れが発生しました。